

01 特集

ひとりひとりの力を活かす防災

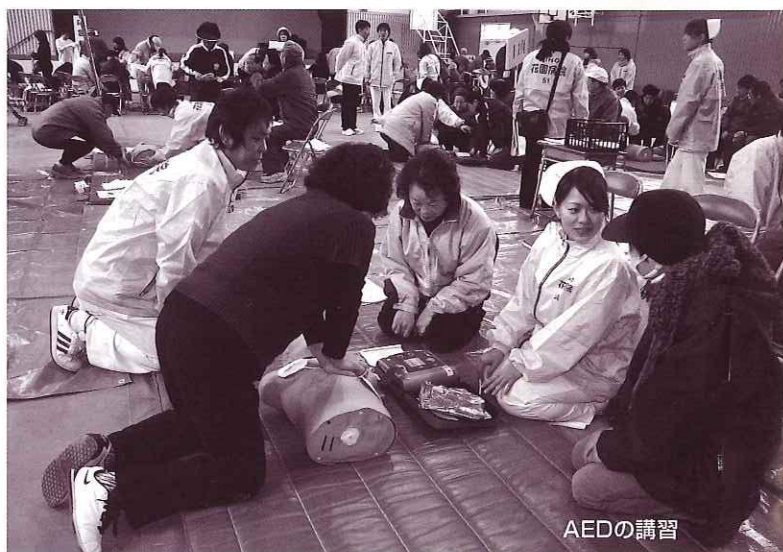
ブックガイド
05 Book Guide

05 男女共同参画社会推進団体紹介

06 再就職応援セミナー体験記

07 ローズWAMからのお知らせ

08 ローズWAM利用ガイド



AEDの講習



防災訓練



消火訓練



耐震性貯水槽の整備

■ ローズWAMの名前の由来

ローズは茨木市の市花「バラ」を表し、WAMIはWomen And Menの頭文字をとったものです。

ひとりひとりの

力を活かす防災

大きな被害をもたらした阪神・淡路大震災より十五年。今後とも巨大地震といわれる東南海・南海地震をはじめ、上町断層帯地震などに見舞われる可能性が高いと指摘されています。災害が発生した時、私たちの暮らしに何がおこるのでしょか。過去の災害事例より、私たちが直面する困難と課題を考えてみます。

震災現場で直面する困難と課題

ひとり暮らし

阪神・淡路大震災で亡くなった方は、男性よりも女性のほうが約1,000人多かったと報告されています。経済的な貧困ゆえに、古い木造文化住宅に住んでいた一人暮らしの高齢女性が多くの被害を受けました。

逆に仮設住宅に移ってから亡くなって発見された方は、7割以上が男性でした。生活支援アドバイザーなどが訪問しても、特に男性が室内に閉じこもり出てこられない事例もあり、そこには、コミュニティの中で人間関係の結び方の課題が見えます。

茨木市の一人暮らし世帯は30,133世帯(茨木市統計書 平成20年版)。高齢者の一人暮らし世帯は、6,344世帯(女性4,785世帯 男性1,559世帯)です(平成20年11月末現在)。

DV・性暴力の増加

災害時、DV(夫・恋人等からの暴力)や性暴力が増加することは、アメリカなど海外の報告書でも明らかにされています。

阪神・淡路大震災後も、ストレスのためたつた夫や恋人からの暴力被害が増加しました。女性のための電話相談にも、

DVに関する相談が多く寄せられました。また、避難所のトイレや、自宅の片付けに戻ったときに女性が暴力の被害にあう事例もありました。

こうした事実は見逃されがちですが、事実として把握しておくことが、予防や対策を検討する際に重要です。倒れた街灯をすぐに建て直す、自主防災パトロールの実施など、安全確保のために地域でできることを考えてみませんか？

男性は会社、女性は被災地

震災で浮き彫りになったのは、「男は仕事、女は家庭」という典型的な男女の役割分担の弊害でした。交通手段の寸断された中、必死の思いで職場にたどり着いた男性はそのまま帰宅できず、被災地に取り残された女性が、子どもや高齢者のケアを行うしかありませんでした。不安な生活、子育ての責任がひとりにしかかるストレスから、児童虐待の相談も増えました。

避難所

トイレが使いにくい、女性用品が不足している、育児・プライバシー確保のためのスペースがない；避難所では男女それぞれにニーズの違いがありました。

長引く避難生活は過酷でした。冷たい食事やプライバシーのない生活への不満やストレス、心身の疲労が重なり、特に女性に精神的、身体的ダメージが大きく、健康を崩す人も多くなりました。

安全と安心を得られる避難所運営には、様々な人が知恵を出し合う必要があります。

その他にも、災害を理由に不当解雇されたり、パート労働者が大量に解雇されるなど、就労に関わる問題もありました。

誰もが安心して暮らせる 災害に強いまちをつくるために

まずは身を守る

家のまわりの安全チェック

阪神・淡路大震災では、83.7%の方が家具や家屋の倒壊で亡くなりました。地震対策という避難持ち出し品の準備と思われがちですが、まずは家具の転倒防止やガラスに飛散防止シートを貼るなど、自宅を安全な場所にする工夫が大切です。

備蓄品の準備

被災地における生活支援活動が本格化するのには、3日後といわれています。つまり、3日間は自力で生きる備えが必要なのです。水は、一日ひとり3リットル

緊急時の連絡方法

地震は、発生時刻をえらびません。地震が起きたとき、家族全員が一緒だとも限りません。災害時は通信網がマヒし、電話が通じにくくなります。非常時の連絡方法を決めてみますか。

子どもの安全確認

子どものいる家庭では、保育園・幼稚園・小学校と災害時の態勢を確認しておくこと。また、普段何気なく使っている

職場での備え

災害時帰宅困難という言葉、聞いたことがありますか？

災害時、交通網の混乱は容易に想像できます。余震の続く瓦礫の街を歩くのは、かえって危険です。もしものときは、むやみに動かず、災害用伝言ダイヤルなどで家族の安否を確認したら、落ち着くまで留まれる場所で、安全を確保することも必要です。

また、職場にもスニーカーやラジオ、自宅まで歩くことを想定して地図や備蓄品を用意しておくことと安心です。

市の取り組みは？

茨木市では、阪神・淡路大震災以後、地域防災計画の見直し、避難所や避難経路の整備、緊急物資の確保、貯水槽の整備などの防災対策の充実を図ってきました。

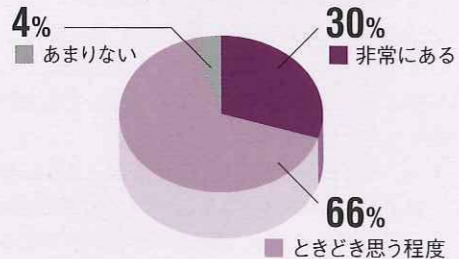
みなさんは、ご自分の地域の避難所をご存知ですか？ 市では、75か所の施設を避難所に指定しています。その中の10か所の小・中学校に災害用備蓄倉庫を整備し、災害時には、震度6弱で医師・看護師も参集し、応急救護所を開設します。

また、万博記念競技場の北側には大阪府北部広域防災拠点があり、被災した市民のための非常用食料や毛布、障害者用トイレ等を備蓄・保管しています。

現在、市内量販店との防災協定により、流通備蓄の取り組みなども進めています。有馬・高槻断層の市域避難者の想定は、21,308人、避難所の全体収容人数は30,436人で、食料の備蓄数は約60,000食(大阪府備蓄分も含む)です。こうしたことも頭に入れ、各自の備蓄品の準備についても考えておいた方がよいでしょう。

ローズWAMの
市民アシスタント・スタッフ
142人にききました

震災などに対する 危機感がありますか

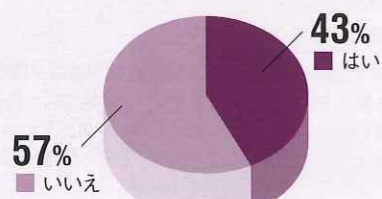


防災対策について日頃から 気を付けていることは何ですか？

(一部抜粋)

- 断水に備えて風呂の水を貯めておく。
- 寝室に高い家具を置かない。
- 寝るときの服装は、不測の事態に陥った場合に、最悪そのまま外に出られる服。
- 地域の人とコミュニケーションをとる。
- ペットの避難場所確保について検討中。
- 地域の防災訓練に参加している。
- 薬の常備。
- ペットフードの確保、ペットシート(非常用トイレ代わりに)を常備している。
- 家族それぞれの小さな防災グッズを用意。

家族や地域で防災について 話していますか？



【携帯用防災グッズ】



緊急ホイッスル(IDカード付)、小銭、ペンライト、非常食、飲料水、非常用覚書など

**男女共同参画基本計画
における防災の取組**

災害発生時の経験から、被災時には増大した家庭的責任が女性に集中するなどの問題が明らかになっており、防災(復興)対策は、男女のニーズの違いを把握して進める必要がある。これら被災・復興状況における女性をめぐる諸問題を解決するため、男女共同参画の視点を取り入れた防災(災害復興)体制を確立する。[男女共同参画基本計画(第2次)]より抜粋

Book Guide

【参考図書】 今回の特集で参考にした図書です。ぜひネットワークギャラリーへお越しください。

女たちが語る 阪神・淡路大震災



ウィメンズネット・
こうべ【編】2005年
K1-ウィ

メディアが語らなかった本当の大震災がここにあり。被災地の女性たちの声を丹念に綴った貴重な記録であり、震災時の女性のニーズがわかる資料としてもおすすめです。

地震から子どもを守る 50の方法



国崎信江【著】
ブロンズ新社 2005年
K1-ク

ママであり、危機管理対策アドバイザーでもある著者の防災対策は、身近にあるもので実生活にいかせるアイデアが満載。家族を守るために、読んでほしい1冊。

地震の時の料理ワザ



坂本廣子【著】
柴田書店 2006年
K1-サ

普段の暮らしにちょっとした知恵と工夫をするだけで十分な備えになります。阪神・淡路大震災を体験した著者が、助かるための実践的な工夫と体験的防災術を、食の分野から紹介します。

じしんのえほん こんなときどうするの？



国崎信江【作】
福田岩緒【絵】
目黒公郎【監修】
ポプラ社 2006年
N1-ク

子どもが一人にいるときに地震が起きたら…。子どもにも知っていてほしい、もしものときに命を守る絵本です。

私の防災カノート



男女共同参画センター
横浜南【発行】2009年

女性の視点を防災にかした冊子です。ネットワークギャラリーで閲覧できます。詳しくはローズWAM情報スタッフまで



備蓄倉庫と備蓄品



ローズWAMも避難場所に指定されています。

日々の暮らしの中で、気の合う仲間づくりや、肩書にとらわれないヨコのネットワークづくりにつとめる、これらが、もしものときの防災力になるのです。

地域で支えあう

お問い合わせは、
危機管理課(TEL 620-1617)まで

「自分たちの地域は自分たちで守る」ために、自主防災組織結成を支援しています。また、地域防災リーダー育成研修会の開催、防災について地域の人たちと話し合い、交流しながら学びあえる出前講座も行っていきます。

ふだんから地域の中に男女を問わず、ともに助け合える人間関係がどれだけ多くあるかということが、被災地では生命を左右しました。

市では、「自分たちの地域は自分たちで守る」ために、自主防災組織結成を支援しています。また、地域防災リーダー育成研修会の開催、防災について地域の人たちと話し合い、交流しながら学びあえる出前講座も行っていきます。

しかし、災害時には、行政も被災することが考えられます。阪神・淡路大震災で、瓦礫の下から助け出された人のうち約8割が、消防や警察、自衛隊ではなく、近所の人に助けられました。

白川小学校区 自主防災会会長 毎川 百合子 さんにお話をうかがいました。



平成16年に大池の講演会で、阪神・淡路大震災で被災された方のお話を聞き、とても身近に感じてね。自治会に防災の組織がなかったのが、新堂から白川までの10の自治会長さん全員に相談したんです。ちょうど茨木市にも総合防災課ができ、その後押しもあって、平成17年より連合で自主防災組織を立ち上げました。

今年は、1月の震災の日に防災訓練と6月に東小学校区と合同で水防訓練を行います。毎回200人くらい参加されますよ。自分の身は自分で守る、自分たちの地域は自分たちで守る、をモットーに活動しています。

防災訓練は、毎年しないとあかんね。忘れてしまうし、いざというときに役に立たない。毎年してこそ値打ちがあるの。アンケートでも年に2回以上してほしいという希望が多いですね。他にも、勉強会や研修に参加したり、他の校区の防災訓練を見に行くこともあります。自治会長同士、情報交換をして、横のつながりを密にしておくことは大切なことだからね。

防災というと硬いかんじがするけど、災害に遭ったら、誰でも動きますでしょ。女も男も関係ないのよ。力仕事だけでなく、細かいことを企画したりね。みんなでするんだから。

私は自主防災会つくって良かった、自分たちのために良かったと思います。何もしてなかったら、とっさのときにうろたえるだけで、どうしようもないでしょう。自分の身を守るためには、防災訓練は必要だと思います。自分の身近なこと、命に関わることだからね。

災害に備えて

【おおさか防災ネット】

<http://www-cds.osaka-bousai.net/pref/index.html>

大阪府と茨木市をはじめ府内市町村が共同して提供する防災情報ホームページです。携帯メールアドレスを「防災情報メール」に登録しておく、気象・地震・避難勧告などの情報がメールで配信されます。

【いばなびマップ】

<http://www2.wagamachi-guide.com/ibaraki/apps/index.asp>

茨木市が提供する地図情報サービス。茨木市地震ハザードマップもご覧いただけます。

【災害時要援護者安否確認サポートシステム】

茨木市では、自力で避難することが困難な障害者・要援護高齢者等の安否確認をする名簿を作成しています。(震度5弱以上) 詳細は、危機管理課(TEL 620-1617)まで

【災害用伝言ダイヤル171】

NTTが災害時に開設。自宅の電話番号とメッセージを録音して、安否や避難状況を知らせることができます。

【災害用伝言板】

携帯電話のメールをつかった伝言板。災害時に設置されます。

※どちらも毎月1日に体験利用できますので、日頃から使い方をマスターしておきましょう。

男女共同参画社会推進団体

VOL. 7

グループとおく

グループとおくは、97年から自分の考えを相手にわかりやすく話すスキルを身につけることで、子どもや夫との関係を変えていこうと考えて活動してきました。最近では、DV(ドメスティック・バイオレンス)をテーマにした活動にも力を入れていきます。

社会基本法から10年、女性は生きやすくなったのか? というテーマで、パネルディスカッション形式の企画を予定しています。

昨年11月22日、23日に宇都宮市で開催された「第12回全国シエルトーションポジウム2009」ごちぎ「STAND UP! 立ち上がるう!」DV根絶を目指して」に参加しました。

男女共同参画社会基本法では、男女共同参画社会を実現するための五つの柱として、①男女の人権の尊重、②社会における制度又は慣行についての配慮、③政策等の立案及び決定への共同参画、④家庭生活における活動と他の活動の両立、⑤国際的協力を掲げています。特に④については、職場に活気があり、家庭生活が充実し、地域力の向上が図られれば、一人一人の豊かな人生が実現できるというイメージを想定しています。この10年で私たちの暮らしはどういう風に変ったのか? 変わらないのは、なぜか? 皆さんで考えてみたいと思っています。ご参加お待ちしています。

パープルリボンプロジェクト



また、2月7日の第10回ローズWAMまつりでは、99年に出来た男女共同参画社会基本法から10年という節目として「男女共同参画

(連絡先) 池田 美とり
TEL 627-8420

絵本ストーリーコンクール 入選作品決定!!

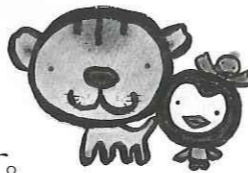
WAM大賞 「へんじゃないもん!」 乾 早希子さん



「男女共同参画」の思いを込めた「絵本ストーリー」募集で68編の応募をいただきました。

審査の結果、下記の通りに決定しました。

絵ことば作家のたかいたかこさんに作画を依頼し制作いたします。できあがった絵本は、市内各施設等に配布し、読み聞かせ等の活用を通して、「男女共同参画」について考えるきっかけになることを願っております。



賞	作者 (敬称略、順不同)	作品名
WAM大賞	乾 早希子	へんじゃないもん!
入選賞	清水 大輔	おかあさんがおしごとをはじめた
入選賞	小幡 愛美	星と子守唄
入選賞	小坂 美樹	ぼくとパパの約束
入選賞	岡村 芳子	ママとパパってどっちがえらいの?
入選賞	武田 和代	まりちゃんのおうち
入選賞	天野 諒 平井 美輝 中村 圭吾 佐野 智秋 北山ひろみ	みんなでおままごと

入選作品は
ローズWAMまつりで
表彰します!

報告

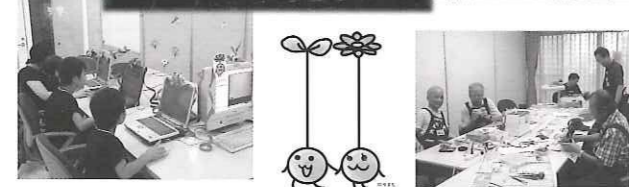
ワムワムキッズパーク

8月29日(土)に開催しました。

2回目はグレードアップ!そして笑顔がいっぱい!



見る、知る、
楽しむ、
考える一日



夏休みの楽しい一日

多くのお友だちが来てくれました!

～WAMも街もいいところ 来て出会う楽しんで～
第10回 ローズWAMまつり
平成22年2月7日(日) 9:30～20:30

絵本表彰式・講演会 13:30～

「人生は舞台、あなたが主演
～マスオ流男女共同参画の話～」

増岡 弘さん(声優・俳優)



- ★舞台発表(ハワイアンフラ・民謡・バレエ等)
- ★ワークショップ ★展示(登録団体等)
- ★手づくりコーナー(ステンシル染・フラワーアレンジメント等)
- ★調理販売(赤飯、助六、みそ汁、フランクフルト、シチュー、ケーキ等)

商店街とのコラボレーション企画「ワムワム★ラリー」「商店街写真展」を開催
盛りだくさん!1日WAMで楽しんでください!

ファンキープラスバンドショー 19:00～

出演:SPY(スパイ) 関西を中心に活躍するホーンアンサンブルバンド

講演会、コンサートは事前要予約。調理販売、手づくりの前売りあり。詳細は1月広報、ちらし、市ホームページをご覧ください。



再就職応援セミナー体験記



再就職を目指す女性たちを応援する、再就職応援セミナー。今回は事業スタッフ川上が受講生として参加しました。セミナーの内容とともに、感じたことなどを紹介します。

1日目(9月24日) 講師は、21世紀職業財団の森田江里子さん

初回の緊張気味な雰囲気も、アイスブレイキング(初対面の参加者同士の緊張感を和らげるために行うゲーム等)を終える頃には和気あいあいとなりました。そして、配られたのは「私は誰?」と書かれたA4サイズの一枚の紙。「私は」に続く文章をいくつも考え、記入します。これによって自己概念(自分がどんな人間であるかについて抱いている考え)が出てきます。たくさん書けた人、数の少ない人とさまざまでした。続いて、ある物語を各自で読み、その登場人物を好ま

しい順に並べます。良いと思う行動をしているはずの主人公が、実は主体性が無いようにみえたり、優しい言葉をかけていてもずるさが見え隠れしたり…。そんな中からだれを好ましく思うかで、自分の価値基準がわかります。自己概念と価値基準を知り、その上で「自分自身が人生に対して何を求めるか?」を考え、就職を考える。自分で書いて・話して・考えて、自分はこんな人だったんだ!という新たな発見があり、これからの再就職活動の指針となりました。

2日目(9月30日) 講師は、アデコ株式会社の寺田克司さん

過去に4回転職されたご自身の経験から、再就職のコツを体得されたという寺田さん。その経験に裏付けされたワザの数々はとても実践向けであり、これからの活動にプラスになることばかりでした。履歴書についてのお話では、字を丁寧に書くことはもちろんのこと、写真はとても重要で、自分でっこりしすぎていると思うぐらいの笑顔で写ると感じが良いことや、ひざに白いタオルを置いて撮るとそれが反射板の代わりになって、しわの無い明るい顔に

写るのだとおっしゃっていました。そして面接当日には、自分は俳優だ!と言い聞かせて挑み、場をわきまえた上での最高のおしゃれをするというそうです。(アメリカの心理学者メラビアンによると、第一印象の55%が「見た目」だというお話もありました。ヨレヨレのシャツではせっかくのアピールも台無しです!)また、その日のうちにいかにその会社で働きたいかの熱意を表したお礼のはがきを出すことで好感度がアップするそうです。いざ、実践なり!

3日目(10月2日) 講師は、第一生命保険相互会社の草間隆さん

女性が働くということについて、良い点をたくさん話していただきました。特に「働くことができる期間」について、「一般的に女性は子育てで担う部分が大きく、子どもの手が離れたと思った頃には親などの介護の時期へ突入してしまい、働ける時間がと

ても短い」とのことでした。レジュメには大きな文字で「女性が働けるのは…親が元気な今のうちです!」とあり、普段はあまり考えていないけれど、ずっしりとのしかかってくるこの現実に触れ、かなりドキッとしたのは私だけではなかったはずです…。



マザーズコーナーの様子

講座終了後、ハローワーク茨木の中に新しくできたマザーズコーナーの見学へ。「結婚・出産・子育てなどのライフサイクルの中で、女性が意欲と能力を十分に発揮して働いてもらえるよう、職業相談、お仕事探しのお手伝いをさせていただきます。」と担当の山中さんのお話です。私も実際に面談させてもらい、的確なアドバイスや仕事と子育ての両立に関する情報を教えていただき、とても参考になりました。

子どもも、DVDや絵本のある楽しい空間だったようで夢中で遊んでいました。母子ともに安心して過ごせました。これからもお世話になります!

お問い合わせ ハローワーク茨木 ☎072-623-2551

ローズWAM利用ガイド

ほっと・WAM・相談

ローズWAMでは各種相談を実施しています。お気軽にご利用ください。

■ 面接相談 (予約制620-9920) ※いずれも火曜・祝日は除く

女性面接相談	月～土曜日 午前10時～午後4時
D V 相談	月～土曜日 午前10時～午後4時
女性法律相談	第3木曜日・土曜日 午前9時30分～午後0時30分
子どもに関する面接相談 (年齢0歳～18歳)	月～土曜日 午前10時～午後4時
子どもに関する井戸端会議	第2金曜日 午前10時～正午
仕事なんでも相談	最終木曜日 午後1時～午後4時

■ 電話相談 ※いずれも火曜・祝日は除く

女性電話相談	TEL 621-0892 毎週月～土曜日 午前10時～午後1時
子どもに関する電話相談 (年齢0歳～18歳)	TEL 622-5757 毎週月～土曜日 午前10時～午後4時
男性電話相談	TEL 620-9920 毎月第3水曜日 午後6時30分～午後9時30分

- 相談無料
- 相談の秘密は厳守します
- 一時保育あり (要予約)



ローズWAMを活用しよう

■ 会議室・ホールを借りる

※予約受付時間：午前9時～午後5時

利用時間：午前9時～午後9時30分

180人収容のホール、会議室、和室、料理工房の貸し出しをしています。要予約 ※毎月初日に抽選。以後、先着順受付。申込方法等詳しくはお問い合わせください。

● 貸館に関するお知らせ

平成22年4月から、インターネットで、ローズWAM各室の利用申請などが行えるようになります。利用には事前の利用者登録が必要です。詳細が決まりましたら、市広報等でお知らせします。

■ 印刷工房を利用する

※火曜日を除く、午前9時～午後7時

● 男女共同参画社会推進のための資料づくり等にご利用ください。事前に講習会 (毎週木曜日午後2時) の受講が必要です。

● 印刷機材利用の実費として、利用料を納めていただきます。

■ ネットワークギャラリーを利用する

※火曜日を除く、午前9時～午後7時

● インターネット利用 (基本：1人1日30分)

● ビデオ視聴

● 図書の閲覧・図書、啓発ビデオの貸し出し (合わせて1人3点2週間)

※ご利用には「WAM図書利用カード」(茨木市内在住・在勤・在学者に発行)が必要です。身分証明書 (運転免許証等) をお持ちください。

■ 交流サロン(2階)を利用する

※火曜日を除く、午前9時～午後7時、予約不要、無料

● 自由にご利用いただけるスペースです。会合、待ち合わせ、ランチに！

● コピー機

【開所時間】 午前9時～午後10時

【休所日】 ● 毎週火曜日

● 保守点検のための臨時休所
平成22年2月22日 (月)

● 年末年始の休所日
12月28日～翌年1月4日まで

※館内禁煙 (館外西側に喫煙場があります)

※地下2階フムホールでの飲食はできません。

※クールビズ・ウォームビズにご協力ください。

夏は28度、冬は18度の適正温度に設定しています。

※台風等により、午前7時の時点、及びそれ以後に北大阪に暴風警報が発令された場合は、ローズWAMは閉所となります。なお、同日中 (午前7時以降) に警報が解除になった場合、解除された時刻から2時間後に開所します。ご協力をお願いいたします。

入館者のみなさんへのお願い

騒音等他人に迷惑をかける行為や、正当な理由なく長居することなど、公序良俗に反する利用はおことわりしています。みなさんに館を気持ちよくご利用いただくため、ご協力をお願いします。

喫茶ぱーとなー

【営業時間】 午前9時30分～午後5時 (火曜日定休日)

【場所】 ローズWAM 1階

各会議室、交流サロンへの出前もいたします。



男女共同参画課 環境スローガン

自分から 思う心が エコロジー

- 自分が変わる 自分が変える
- 皆でめざす ECO生活
- いつも心に ECOマーク

編集つれづれ

★ 2009年もあつという間に・・・今年もよろしく (むらさん)

★ 8月に甥が生まれ、2才半の息子は赤ちゃんに興味津々。お兄ちゃんらしくお世話する姿に感動しています (クイ)

★ WAM通信の編集に参加させて頂き、いろいろなご意見や現状を知る事ができ視野が広がりました (メリ)

★ 通信に関わることで、通信が出来上がるまでの皆様の苦労がよくわかり、大変勉強になりました。有難うございました (KAZU)

★ 春から入園・入学と新しい世界に足を踏み出す娘たち。母も冬眠から覚めねば!! (ざん)

10.3.

編集・発行



茨木市人権部男女共同参画課 茨木市立男女共生センターローズWAM

〒567-0882 大阪府茨木市元町4番7号 TEL072-620-9920 FAX072-620-9921

http://www.city.ibaraki.osaka.jp/kikou/wam/index.html

この冊子は12,000部作成し、1部当たりの単価は14.18円です。



駐車場は中央公園地下駐車場(有料)をご利用下さい。